

【学校教育目標】 未来の創り手となる子の育成

自ら学ぶ子

共に生きる子

たくましい子

＜令和6年度重点取組＞

少人数、小集団における豊かな学び・個を最大に伸ばす個別最適な学習の実施
ユニバーサルデザインラーニング（UDL）に基づく組織的取組とあたり前の尊重

ICT活用・授業研究の推進による個別最適な学びの実践研究

学びのベース整備

～ICTを活用した学びの推進～

教師の指導力・対応力育成

～より豊かに学ぶ～

地域の学校・社会の学校

～人・社会・未来を学ぶ～

①目指す児童育成

- ・あたり前を尊重した共通対応
- ・4つの視点を生かした生徒指導
- ・授業内外の自由なICT利用

②読書指導（質・量・習慣）

- ・必読書、並行読書の設定
- ・情報収集、活用指導
- ・家庭（地域）読書活動

③家庭・地域との連携

- ・積極的な情報発信
- ・心身ともに健康な子を育成する協働体制づくり（生活習慣・家庭学習・スマホ、ゲーム使用）

①楽しくわかる授業の実現

- ・ねらい達成のための見取りを生かした支援と授業設計→明確な達成基準と評価→結果に基づく指導、反復練習。

・どの子も伸ばすメニュー

協働⇔個別、を柔軟に

②やりきる指導

- ・生活や学習のあたり前徹底

③児童の多面的理解

- ・生徒指導・特別支援教育の一元化と保護者理解の充実
- ・早期対応、継続観察
- ・良さを認め伸ばす

④学級力、学校力向上

- ・検定、テスト等の活用による集団力の把握と手だて
- ・結果に基づく指導改善

①集団づくり

- ・のびるんタイムでの全校活動
- ・1年を通してのたてわり活動
- ・委員会活動、体力づくり等のチャレンジ活動の充実

②地域の理解とふるさとづくり

- ・未来を創るSDGs教育の推進
- ・地域理解と連携・発信活動
- ・専門家を招聘（or リモート）による学びの場設定

③これからの学校づくり

- ・効率的、効果的なカリキュラムの研究
- ・他校との交流・協同学習

＜学校経営の在り方＞ 小規模や複式指導の課題や強みを踏まえ、目指す学校実現に組織的に取り組む学校

＜学校経営の具体＞

- UDLに基づく組織的指導・対応の定着・・・あたり前の尊重。粘り強い学習態度や生活の実現。
- 効果的・効率的なカリキュラムの研究推進・・・国語科を軸、複式・少人数での豊かな学びの追及と実現。地域資源の活用。
- 地域・保護者と協働する開かれた学校づくり・・・信頼に応える学校。評価等による経営改善。
- 小規模集団の利点を生かした個別最適化の学び・・・達成基準の明確な設定。結果に基づく確実な対応。力のある子への対応。
- 双方向の学びの工夫・・・地域・他校等との交流。
- 学校力を支える人づくり、組織づくり・・・担当の明確化。組織参画を促す起案や支援システム。OJT。業務改善。
- 校内研修の充実・・・授業や単元構想、カリマネ。児童理解、生徒指導。

※UDLに基づく組織的取組について

まず共通する対応（授業・生徒指導）を充実させる。
結果に基づき、適切な指導・支援を行う。

2層目3層目に厚くなり
がちな小規模校の対
応を1層目にシフト

